

とちぎで農業する人を募集します

就農準備校

とちぎ

農業未来塾

申込
受付期間

令和6(2024)年12月2日(月)～
令和7(2025)年1月31日(金)必着

令和7年度
研修生
募集

あなたの農業がここから始まる

◆農業で夢をかなえたい人 ◆独立して農業を始めたい人 ◆農業を実践的に学びたい人

就農準備基礎研修

①木曜日コース 研修曜日：木曜日

②土曜日コース 研修曜日：土曜日

研修期間：4～1月(30日)

募集人員：各40名 受講料：15,000円

農業経営や栽培技術の基本的内容を中心とした講義、
実習、現地視察等

就農準備専門研修Ⅰコース

研修曜日：月・水・金曜日 研修期間：4～3月(100日)

募集人員：60名 いちご：20名 施設野菜：15名
露地野菜：15名 果樹：10名

受講料：50,000円

就農準備専門研修Ⅱコース(実践研修)

研修曜日：月・水・金曜日の専門研修Ⅰコースと、
火・木曜日の指導農業者による現地実習

研修期間：4～3月(180日)

募集人員：Ⅰの範囲内で5名程度

受講料：90,000円

いちご・施設野菜・露地野菜・果樹の農業経営・栽培技術の
専門的内容に関する講義、実習、現地視察等



つくば県農業大学校

令和7年度研修生募集のご案内

Uターン、Iターンなどにより、栃木県内で農業経営を始めたいと考えている方が、円滑に就農できるよう、基礎的な農業経営の知識や作物の栽培技術などを学べる研修の受講者を募集します。

受講要件

新たに栃木県内で本格的な農業経営を始めたいと考えている方。(家庭菜園や趣味の農業志向者は対象外です。)

受講申込の方法

◆受講申込みに必要な書類等

- 受講申込書：様式1
 - 就農計画書：様式2
 - 返信用封筒：2通 (定形封筒長3、宛名・住所を記入し、必ず110円切手を貼ってください。)
- ※返信用封筒は、面談通知と受講決定通知に使用します。

◆提出先

〒321-3233 宇都宮市上籠谷町1145-1 栃木県農業大学校 未来塾担当

◆受付期間 (郵送・持参)

令和6(2024)年12月2日(月)～令和7(2025)年1月31日(金) 必着

(本校に直接持参する場合は、8:30～17:15、土日、祝日及び令和6(2024)年12月30日(月)～令和7(2025)年1月3日(金)を除く) ※ファクシミリ、Eメールでの受付はいたしません。

受講者の決定

受講者は、受講申込書等の関係書類、面談によって決定します。

◆関係書類により要件に合った方は、面談日程等を通知します。申込状況によっては、日程の変更もあります。

- ◆面談日：就農準備基礎研修 木曜日コース 令和7(2025)年2月20日(木)
- 同上 土曜日コース 令和7(2025)年2月15日(土)
- 就農準備専門研修 Iコース 令和7(2025)年2月19日(水)
- 同上 IIコース(実践研修) 令和7(2025)年2月14日(金)

◆受講決定：令和7(2025)年3月上旬に本人宛てに郵送します。

なお、専門研修IIコースについては、現地実習先が決定してから、3月末までに受講の可否を通知します。

※電話等による問い合わせには応じません。



コースの構成

研修コース		研修内容	研修期間 (日数)	研修曜日	募集人員	受講料
1 就農準備 基礎研修	①木曜日コース	農業経営や栽培技術の基本的内容を 中心とした講義、実習、現地視察等	4～1月 (30日)	木曜日	40名	15,000円
	②土曜日コース			土曜日	40名	
2 就農準備 専門研修	Iコース	いちご・施設野菜・ 露地野菜・果樹の農 業経営・栽培技術 の専門的内容に関 する講義、実習、現 地視察等	4～3月 (100日)	月・水・金	60名 (いちご：20名 施設野菜：15名 露地野菜：15名 果樹：10名) ※IIは、上記の範囲 内で5名程度	50,000円
	IIコース (実践研修)		4～3月 (180日)	月・水・金 (Iコース共通) + 火・木 (現地農家実習)		90,000円

※研修時間は原則として9:00～16:00です。

※研修日の他に、圃場・作物管理のための登校日があります。

※就農準備基礎研修の木曜日コース、土曜日コースは同じ内容です。どちらでも受講可能な場合は、受講者数に応じて調整する場合があります。

※複数コースの同時受講はできません。

※受講料の他、テキスト代、傷害保険加入料等として10,000～15,000円程度の費用が必要です。



カリキュラム

各コースとも講義と実習で構成され、

- 作物を作るために必要な基礎的知識（土壌肥料、病害虫防除等）
- 農業経営に必要な基礎的知識（農業簿記、経営管理、各種農業制度等）
- 農作物を販売するために必要な基礎的知識（マーケティング、農業の6次産業化等）

について研修します。

また、就農準備専門研修は基礎的研修に加え、作物を限定した、より専門的な知識の習得、実習を行います。

新規就農者育成総合対策(就農準備資金)への対応

「専門研修IIコース(実践研修)」受講者で、一定の要件を満たす方は、新規就農者育成総合対策(就農準備資金)の申請が可能です。なお、当該資金の交付を受けるためには、別途審査がありますので御留意ください。詳細は、個別に御相談ください。

新規就農者育成総合対策とは、次世代を担う農業者を目指す人(就農予定時の年齢が原則50歳未満)に、就農前の研修を支援する資金(就農準備資金)と就農直後の経営確立を支援する資金(経営開始資金)を交付する国の事業です。この内、就農準備資金は、栃木県が認める研修機関で研修を行う就農希望者で、一定の要件を満たす場合、最長2年、原則最大150万円/年を交付するものです。

※事業内容は令和6年度のものであり、今後、事業内容等が変更となる可能性があります。

とちぎ農業未来塾修了生からのメッセージ

専門研修IIコース・いちご
(R5年度修了)

筑井智紀さん



私の実家は、祖父の代からいちごを生産しており、兄の代で3代目になります。

高校を卒業して、自動車関係の仕事をしていましたが、実家で作っていた美味しいいちごを、自分は観光農園として、より多くの人の手元へお届けしたいと思い、農業振興事務所へ相談したところ、とちぎ農業未来塾のことを知り、1年でも早く就農したかったということもあり、専門IIコースに受講申込をしました。

未来塾では経験豊富な指導員の方々が、気候や環境に合わせ、安定した生産を行っていくために必要な知識などをわかりやすく説明してくださるので、実習はとても充実していました。同じいちごと言えど、品種が違えば育苗から栽培方法の違いもあり、先進農家さんでの実習では実際に観光農園での作業を体験させて頂き、自分のやりたい方向性に関して、改めて考えさせられる良い経験となりました。これから自分が農家を始めていくにあたり、師匠と弟子のような関係性を築けたこともとてもよかったなと感じています。

就農後は、未来塾で学んだことを生かし、観光農園として地域の活性化のためにも尽力していき、将来的には研修生を受け入れられるような、一つの目標とされるような農家を目指して精進していきたいと思っています。

専門研修Iコース・施設野菜
(R4年度修了)

吉成亜紀さん



私の実家は、両親が水稲と露地野菜を栽培していましたが、会社員として働いていた私は多忙な時に手伝う程度でした。仕事を退職してから手伝うことが増え、両親が高齢なこともあり就農したいと考えました。このころに未来塾のことを知り、両親とは異なった作物に挑戦したいと考え施設野菜コースに応募しました。

入校後は、栽培の全体的な流れを知った上で細かなポイントも抑えることができました。また、トラクターの操作や農薬散布の方法、出荷調整など実践しながら学ぶことができ、就農後役に立っています。

同じ就農を目指す仲間もできて意見を交換するなかで、就農後のビジョンをより鮮明にすることができました。就農してから情報交換をしたり、作業を手伝い合ったりできる仲間ができたことが良かったです。

現在は、家族でアスパラガスとナスを栽培しています。未来塾で学んだことを基礎として、より一層良いものを栽培できるように取り組みたいです。

基礎研修・木曜日コース
(R5年度修了)

菅沼英明さん



私の家は、米麦の専業農家です。両親が高齢となって来たため、仕事を辞め就農を決意しました。

就農するに当たり、農業の全般的な知識の習得と何か野菜を取り入れられないかと考え、未来塾の基礎コースを受講することにしました。基礎コースでは、農業全般の講義と露地野菜の作業実習があり、自分の作りたい野菜を探ることが出来ると思います。米麦は冬が農閑期となるため、私は秋冬に出来る野菜はないかと考えて、実習でも行ったネギを作付することにしました。今後は自分の作業体系や労働力に合わせて規模拡大をしていきたいと思っています。

また未来塾では、同じ志を持った仲間と出会うことが出来ました。今でも相談や情報交換をして交流が続いています。これからも、同期の仲間と切磋琢磨して、栃木の農業を盛り上げて行きたいと思っています。

専門研修Iコース・露地野菜
(R5年度修了)

刑部浩正さん



私は43歳会社経営者です。親戚からの相続で、いきなり農地を所有することになりました。これまで農業経験がありませんでしたが、農業の基本を学ぶことができ、おかげさまで無事就農して長ネギを生産しております。

さて、私は自分で豆を挽くぐらいのコーヒー好きです。しかし、地球温暖化で生産地域が縮小していることと、生産者の貧困による離農で将来コーヒーが飲めなくなりそうです。バリスタがいるようなお店では1杯1,000円も珍しくありませんが、コーヒー豆生産者が生活できるような報酬は支払われていません。このことはコーヒーに限ったことでなく様々な農産物に起きているのが現状です。

これからの時代はただ生産するだけでは難しいように思えます。「就農するまえに未来塾で教えてもらってよかった」と思っています。

- ・何も知らず、何も考えず農業をやる人。
- ・すでに問題がある。だからどうすれば良いかを常に考えて農業をやる人。

皆さんはどちらですか？

作物がどんどん育っていくのはとても楽しいですし、やりがいもあります。さらに報酬も得られます。ぜひ稼げる農業者になってください。

問い合わせ先

栃木県農業大学校 未来塾担当

〒321-3233 宇都宮市上籠谷町1145-1

電話 028-667-4944

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g63/>



令和7年度就農準備校「とちぎ農業未来塾」受講申込書

令和 年 月 日

顔写真を貼付
(4 × 3cm 程度)

栃木県農業大学校長 様

ふりがな
氏 名

私は「とちぎ農業未来塾」の研修を受講したいので、関係書類を添えて申込みます。

1 受講コース及び連絡先等

希望コース 【 】の中から 一つ〇で囲む	・就農準備基礎研修	【 木曜日コース ・ 土曜日コース 】		
	・就農準備専門研修	I コース	【 いちご ・ 施設野菜 ・ 露地野菜 ・ 果樹 】	
		II コース (実践研修)	【 いちご ・ 施設野菜 ・ 露地野菜 ・ 果樹 】	
住所等	郵便番号	-		
	住所 (建物名・番号まで記載)	県 市・町		
	電話番号			
	携帯電話番号			
	メールアドレス	@		
生年月日	西暦 年 月 日 (歳)	職業	現在 (申込時)	
最終学歴	<input type="checkbox"/> (農業系学校の卒業者等は <input checked="" type="checkbox"/>)		令和7年4月 (予定)	

※就農準備基礎研修は希望するコースを〇で囲んでください。どちらでも受講可能な場合は、受講者数に応じて調整する場合があります。

※就農準備専門研修はI又は、IIおよび専攻名を〇で囲んでください。

※就農準備専門研修IIコース(実践研修)受講者のうち、新規就農者育成総合対策(就農準備資金)の要件を満たしている者は同事業への申請が可能ですが、事業の採択には別途審査があります。なお、同事業については国の事業のため、今後、事業内容等が変更となる可能性があります。

2 受講を希望する理由

3 就農に対する家族の意向

- ① 同意を得ている ② 同意を得ていない

4 農業経験

- ① 全くない ② 家庭菜園程度の経験あり ③ 兼業農家で時々実践 ④ 専業農家で実践
⑤ 農業研修の経験あり (研修名: 期間:)

5 その他 (健康上不安なことなどがあつたら御記入願います。)

とちぎ農業未来塾の研修及び就農支援に係る「個人情報の取扱い」について

栃木県農業大学校は、受講申込書及び就農計画書の内容については、個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)等に基づき適正に管理するとともに、研修及び就農支援に資するため必要に応じて市町村及び関係機関等へ提供する場合があります。

上記「個人情報の取扱い」に同意します。 氏名 _____

就 農 計 画 書

氏名 _____

1 就農予定時期 西暦 _____ 年 _____ 月 (※既に就農している者は就農した年)

2 就農予定地 (又は希望地) _____ 市・町

3 家族構成 (※同居および農業経営に参画する者)

①続柄 (年齢 _____)、②続柄 (年齢 _____)、③続柄 (年齢 _____)

④続柄 (年齢 _____)、⑤続柄 (年齢 _____)、⑥続柄 (年齢 _____)

4 農業経営等の構想 (取組作物、販売等の考え方など)

経営の規模等

区分	主な作物	面積 (㎡)	目標所得金額 (万円)	労働力
現 状				本人以外 _____ 名
				(具体的な続柄等)

	計			_____
就農時				本人以外 _____ 名
				(具体的な続柄等)

	計			_____
就 農 5 年後				本人以外 _____ 名
				(具体的な続柄等)

	計			_____

5 農地・施設等の取得状況

区分	取得済	今後取得見込み・希望	方法
農地	・所在地 (_____ 市・町) ・面積 水田 (_____ ㎡) 畑 (_____ ㎡) その他 (_____ ㎡)	・所在地 (_____ 市・町) ・面積 水田 (_____ ㎡) 畑 (_____ ㎡) その他 (_____ ㎡)	・借 地 ・購 入 自己資金 各種融資 ・その他
施設 機械	・ハウス等 (_____ ㎡) ・機械類 (_____)	・ハウス等 (_____ ㎡) ・機械類 (_____)	・借りる ・購 入 自己資金 各種融資 ・その他

* 10a (1,000㎡) ÷ 1 反

6 当面の生活資金の確保 (※農業収入を得られるまでの数年間の生活資金)

有 ・ 無